

株式会社トノックス、超小型EV技術研究組合（METAx）とマイクロ・ユーティリティ・ビークルの車両開発へ

「クルマを小さくすれば、世界はもっと広がる」



マイクロ・ユーティリティ・ビークルの車両開発へ、超小型EV技術研究組合（METAx）Project leader 竹村 洋之氏（左）と株式会社トノックス 常務取締役 殿内 崇生氏（右）

車体製造・特装车架装を得意とする株式会社トノックスは、超小型EV技術研究組合（METAx）と生産技術検討協力を結び、車両の組立・技術検証を行い、2023年10月26日から開催されるJAPAN MOBILITY SHOW 2023において弊社のブース（小間番号：E7101）に出展することをお知らせします。

超小型EV技術研究組合（METAx）は、株式会社エイチワン、株式会社山田製作所、株式会社都筑製作所、ブルースカイテクノロジー株式会社 4社で共同研究することを目的に、経済産業大臣の認可により設立された法人です。今後、事業会社を設立し資金調達を行い量産仕様の開発を進め、2026年頃の量産を目指します。

株式会社トノックスは、車体製造・特装车架装を敷地面積46,000㎡となる平塚工場で軽乗用車からバス・トラックなどの大型車両まで幅広い車種に対応し、年間3,000台超の生産を行っています。その生産力を活かし、マイクロ・ユーティリティ・ビークル（以下「MUV」）の車体組立・技術検証で当社の強みを活かしながらMUVの量産へ向けた取り組みを推進します。

各社のコメント

超小型EV技術研究組合（METAx） 理事長 平井敏郎氏

高齢化や人口減など社会構造の急激な変化を迎える社会に、身近で使いやすい超小型EVを提案します。宅配や食品デリバリーなど小型の荷物を運ぶ車両として皆さんの暮らしをより豊かにするお手伝いをしたいと考えています。

株式会社トノックス 常務取締役 殿内崇生氏

車体製造・特装車架装メーカーとして初代シルビアを始めとする車体製造、自動車メーカーの試作業務など実績と信頼を積み上げた弊社と元日系自動車メーカーのEV開発を担当したエンジニアが造りあげる本物のEV車両（MUV）を両社の強みを最大限に生かし、今後量産に向けた取り組みを行います。

◆会社概要

社名：超小型EV技術研究組合（METAx）

所在地：神奈川県厚木市七沢2178

設立：2022年10月

理事長：平井敏郎（ブルースカイテクノロジー株式会社 取締役最高技術責任者）

事業内容：超小型EVの研究試験

URL：<http://METAx.or.jp>

社名：株式会社トノックス

所在地：神奈川県平塚市長瀬2番6号

設立：1950年10月

資本金：3億3,000万円

代表者：代表取締役会長兼社長 殿内荘太郎

事業内容：車体製造・特装車架装、特装車の設計・開発

URL：<http://tonox.jp>

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000002.000124522.html>

株式会社トノックスのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/124522

【本件に関するメディア関係者からの問い合わせ先】

株式会社トノックス 執行役員 営業部長 田中耕太郎

電話：0463-23-2528 / 080-3257-3262 Mail：k-tanaka@tonox.com